



交通安全情報No.54

ストップ・ザ・交通事故

令和7年11月17日

警察本部交通部

交通総合対策センター

夜間、道路横断中の歩行者が死亡！

- 11月13日(木)午後10時頃、旭川市内で普通乗用車と道路横断中の歩行者が衝突し、歩行者(80歳男性)が死亡。
- 11月16日(日)午後4時頃、千歳市内で普通乗用車と道路横断中の歩行者が衝突し、歩行者(82歳女性)が死亡。

事故につながる
危険なサイン



【湿潤路面の見え方】

見えていますか？

天候・路面状況に合わせてスピードダウン

夜間は日中に比べて視認性が悪くなりますが、降雨や雨上がりは特に、路面の雨水にライトの光などが乱反射し、センターライン等の道路標示や横断歩行者が見えにくくなり交通事故につながる危険な状況を見落としやすくなります。

法定速度や規制速度を守ることはもちろんですが、天候や路面状況に合わせて速度を落とし、しっかりと安全確認を行いましょう。

信号機や横断歩道の利用と反射材の着用

歩行者から車が見えても、車のドライバーから歩行者は見えていないかもしれません。外出するときには、明るい色の服装と反射材を身に付けて、信号機や横断歩道のある場所から道路を渡りましょう。